

令和2年度第4回 豊田市外国人住民意識調査アンケート結果報告書

調査の概要

1 調査の目的

外国人住民の意識や生活実態を把握するとともに、市政に対する評価、これからのまちづくりに対するニーズ等を統計的に把握し、市政運営の基礎資料とします。

2 調査の方法

- (1) 調査対象：令和2年11月1日現在、市内在住外国人で満18歳以上の住民から抽出した1,500人
- (2) 抽出方法：無作為抽出
- (3) 調査方法：郵送による調査票の配布・回収、WEB調査による回答
- (4) 調査期間：令和3年1月20日（水）～令和3年2月11日（木）
- (5) 調査票の言語：ポルトガル語、中国語、タガログ語、ベトナム語、インドネシア語、英語【すべてに日本語（ふり仮名つき）対応付き】

3 調査項目

本調査における調査項目は以下のとおりであり、調査票の設問の順番に記載しています。

- 回答者の属性に関するもの 7問
- 日本での居住と家族に関するもの 5問
- 日常の不安や人づきあいに関するもの 7問
- 日ごろの活動に関するもの 4問
- 住みやすさとまちづくりの評価に関するもの 4問
- 日本語能力や学習状況に関するもの 4問
- 仕事に関するもの 4問
- 防災に関するもの 7問
- 情報・サービスに関するもの 5問
- 消防・救急に関するもの 2問
- 税金に関するもの 2問
- その他 2問

4 回収結果

- (1) 標本数 1,500人
- (2) 実対象者数 1,481人 標本数から未着（宛先不明で戻ってきたもの）を除いた数
- (3) 回収数 713票（紙：428票、WEB：285票）
- (4) 回収率 48.1%
- (5) 国籍別回収結果

国籍	標本数	未着	今回調査（R2）			（参考）前回調査（H28）		
			実対象者数	回収数	回収率	実対象者数	回収数	回収率
ブラジル	537	5	532	272	51.1%	517	101	19.5%
中国	227	4	223	117	52.5%	290	73	25.2%
ベトナム	252	4	248	114	46.0%	97	24	24.7%
フィリピン	181	2	179	107	59.8%	184	53	28.8%
韓国	26	0	26	13	50.0%	22	11	50.0%
インドネシア	61	1	60	19	31.7%	78	24	30.8%
ペルー	57	0	57	16	28.1%	66	14	21.2%
ネパール	49	0	49	8	16.3%	67	7	10.4%
タイ	39	3	36	12	33.3%	48	8	16.7%
ミャンマー	13	0	13	5	38.5%	—	—	—
その他	58	0	58	24	41.4%	74	26	35.1%
国籍不明	—	—	—	6	—	—	1	—
計	1,500	19	1,481	713	48.1%	1,443	342	23.7%

(6) 比較調査

※H28 標本数=1,500

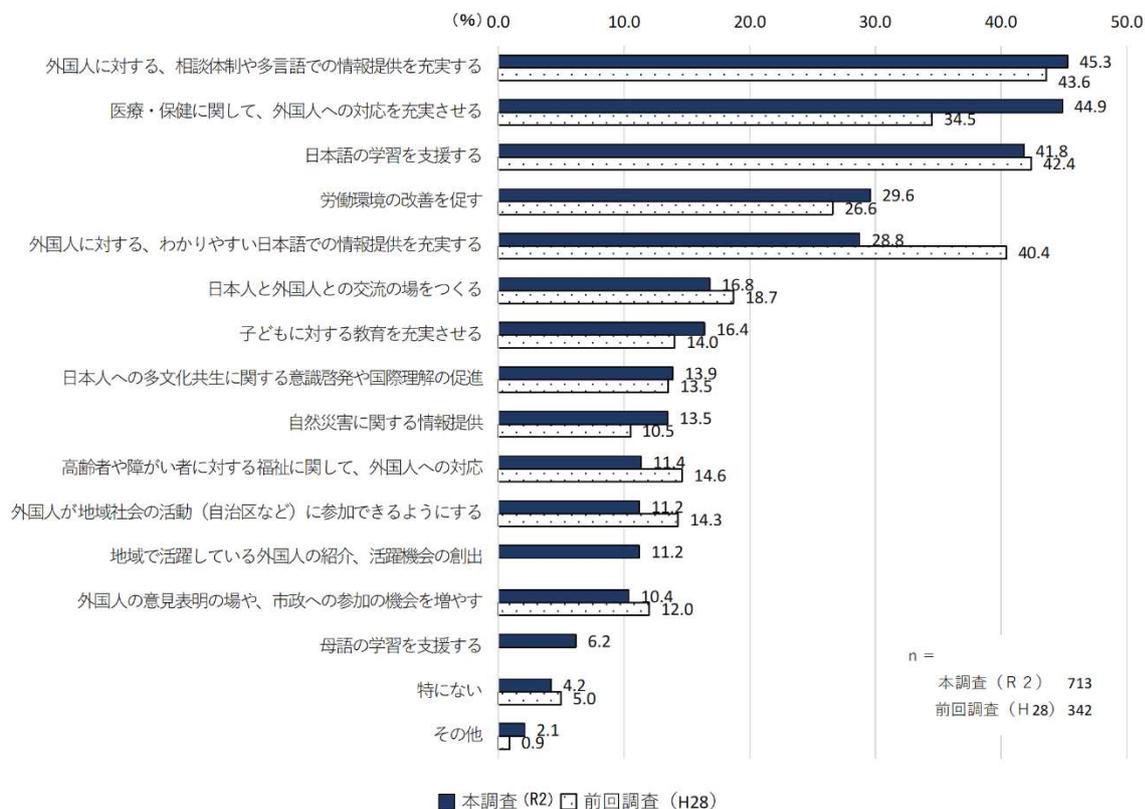
文中やグラフ中の「前回調査」は、平成28年11月1日現在、市内に外国人登録している満18歳以上の方を対象に実施した「第3回外国人住民意識調査」の調査結果を指します。

5 今回の調査で確認できた主な内容（主に前回調査比で正負の傾向が顕著なもの）

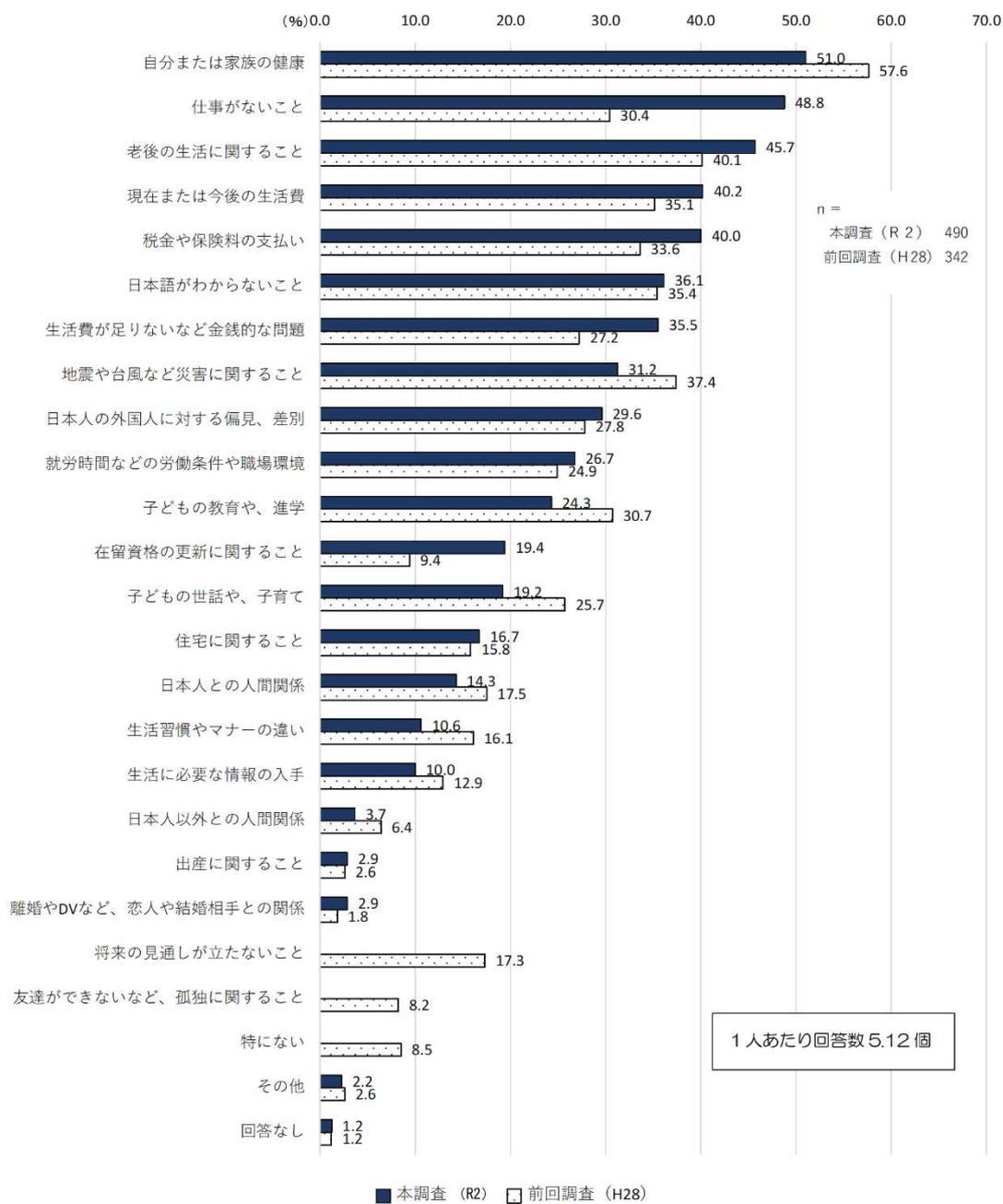
- 外国人に対する行政の取組で充実してほしいことについては、「外国人に対する、相談体制や多言語での情報提供を充実する」が45.3%で最も高く、次に高い「医療通訳など医療・保健に関して、外国人への対応を充実させる」は44.9%で、前回調査よりも10.4ポイント高くなっています。
- 現在の悩みや将来の不安については、一人当たりの回答として約5.12個の項目があげられています。「自分または家族の健康」の割合が51.0%で最も高く、次に高い「仕事がないこと」は48.8%で、前回調査よりも18.4ポイント高くなっています。
- 雇用形態は「正社員」が34.4%と最も高く、次いで「派遣、請負社員」が26.9%、「研修生・実習生」13.8%となっています。前回調査よりも「正社員」が10.4ポイント高くなっています。
- 日本語能力総合点は、「8点以下」が51.8%と最も高く、前回調査よりも23.4ポイント高くなっています（※前回調査と選択肢（能力の判定基準）が異なることに留意が必要です）。
- 充実してほしい母国語での情報は、「保健・医療・福祉の情報」67.9%、「災害など緊急時の対応の情報」46.3%、「仕事の情報」44.5%などが高くなっています。前回調査よりも、「保健・医療・福祉の情報」が7.7ポイント、「仕事の情報」は9.7ポイント、いずれも高くなっています。
- 新型コロナウイルス感染症の影響が「ある」が約6割と高く、具体的な困りごととして、「収束の見通しが立たないこと」が66.6%、「母国の家族や親せきの状況」が40.5%、「母国に帰れないこと」が39.5%と高くなっています。

アンケート分析結果の抜粋（上記5関係）

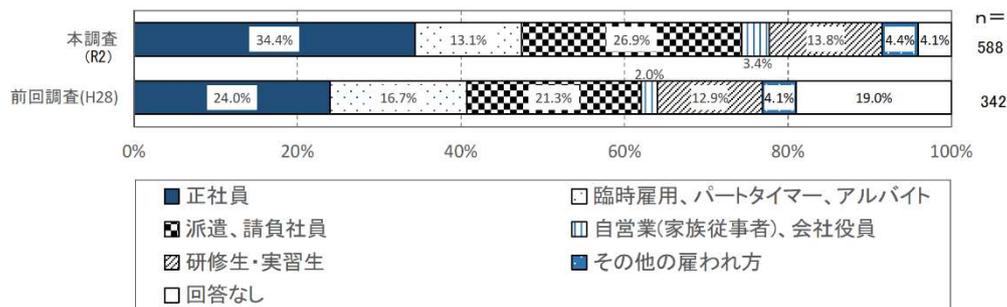
問 外国人に関する行政の取組で、充実してほしいことは何ですか？（複数回答：主なもの3つまで）



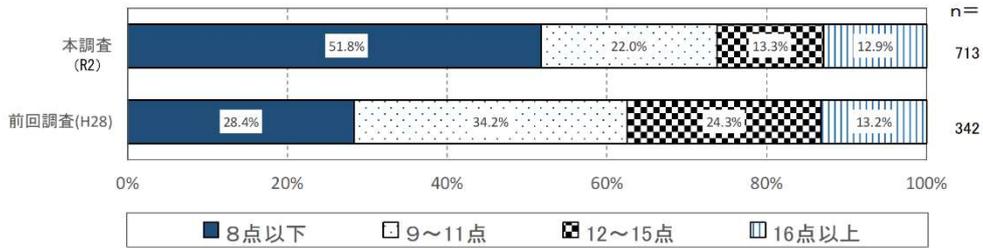
問 あなたの、現在の悩みや、将来の不安はどのようなことですか。(複数回答)



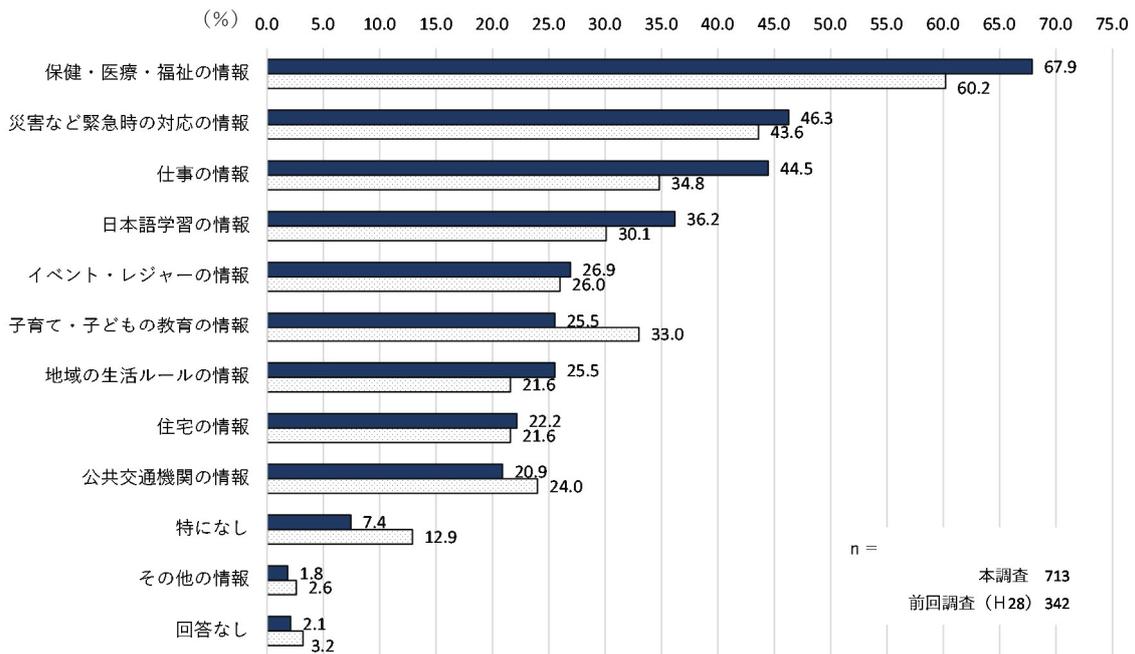
問 あなたの現在の仕事は、どういう雇われ方ですか。(単数回答)



問 日本語能力総合点



問 充実してほしい、母国語での情報は何ですか。(複数回答)



問 コロナウィルスによってどんなことに困っていますか？(複数回答)

